

腫瘍センターNEWS

創刊号：2010/02/16

不定期発行



創刊にあたって

腫瘍センターが発足して2年が過ぎました。これを機会に腫瘍センターNEWSを立ち上げました。腫瘍センター立ち上げのバックグラウンドとなったのは、「がん対策基本法」と「がん診療連携拠点病院」の2つでした。2007年4月、がん医療の“地域間格差”，“病院間格差”，“情報格差”の3つの格差の改善を目標に「がん対策基本法」が施行され、さらに同6月15日「がん対策推進基本計画」が閣議決定され、これを受けて厚生労働省健康局長名で

各都道府県知事に「がん診療連携拠点病院の整備について」が通達されました。がん診療連携拠点病院の指定要件として、1)緩和ケアチームの設置、2)相談支援体制の整備・充実、3)院内がん登録の実施、4)腫瘍センターの設置の4つの項目がありました。こうした動きの中で、北海道大学病院では、2006年6月腫瘍センターおよび緩和ケアチームが運用を開始。同7月腫瘍センターHP開設、院内がん登録システム構築・登録開始、2008年1月腫瘍センター稼働、外来治療センターから化学療法部に名称変更、CancerBoard設立準備、同3月化学療法プロトコル委員会稼働、同4月緩和ケアチーム稼働、2009年2月地域がん診療連携拠点病院の指定(厚生労働大臣)、同8月北海道高度がん診療中核病院の認定(北海道知事)と動いてまいりました。化学療法部、緩和ケアチームは順調に稼働し、がん相談支援室も地域医療連携福祉センター内に設置され、院内がん登録室も診療録管理室内に設置され、ますますニーズが多角化してきております。まだまだ整備途上で、問題点・課題もありますが着実に成果をのばしてきております。実際に行っていることを皆様方に具体的に分かりたいと思います。不定期ではありますが発行していきます。HPも是非ご覧いただき、ご不明な点は何なりとご質問・お問い合わせください。

腫瘍センター長 福田 諭

研修会のお知らせ

地域がん診療連携拠点病院研修会：2月5日(金)本学学術交流会館 **開催終了**

“高度ながん早期診断法に関する 研修会・合同カンファレンス”

を実施いたしました。

講演「早期胃癌の診療 - NBI 拡大内視鏡診断から予防まで -」

光学医療診療部長 加藤 元嗣

合同カンファレンス「講演の内容に基づいたカンファレンス」

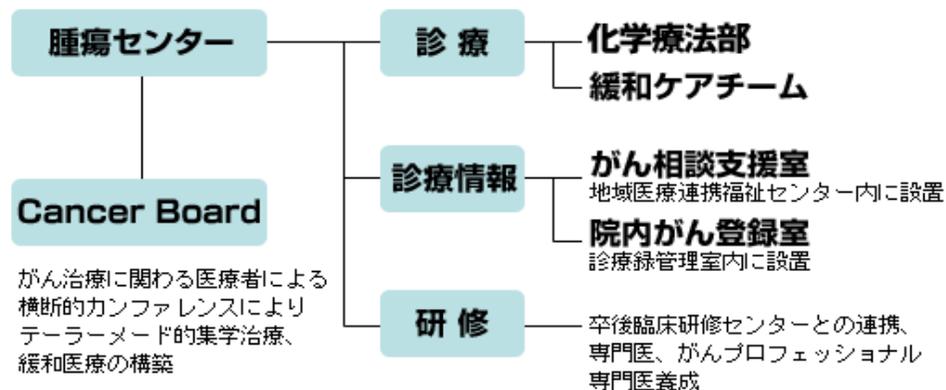
腫瘍センター副センター長 小松 嘉人

腫瘍センターセミナー

2月18日(木) 非小細胞肺癌・乳癌

3月18日(木) 泌尿器癌・頭皮ケアセミナー～化学療法に伴う頭皮・頭髪のケア～

北海道大学病院腫瘍センター 組織図



化学療法部移転

化学療法部外来治療センターが、2010年ゴールデンウィーク明けから中央診療棟3階の旧治験管理センター跡へ移転します。これまでの10床から20床へと倍増することにより、同時に多くの患者さんの治療に当たることができるようになります。化学療法を必要とする患者さんは増加しておりますので、これでなんとか患者さんの治療待ち時間が緩和できるものと思われれます。化学療法部はこの新センターで最新・最高の医療を提供したいと考えています。

トピックス

腫瘍センターHPを大改訂いたしました。これからも最新の情報をどんどん掲載してまいりますので、ぜひご利用ください。 <http://www.huhp.hokudai.ac.jp/cancer/index.html>

ご意見ご感想などはこちらまで・・・

医事課医療支援室地域医療連携係

Email: itiiki@jimu.hokudai.ac.jp

